

# エコツアーリズム大賞

地球と人に優しい旅を！  
日本のエコツアーリズムの担い手たち



■ 主催者のことば

第4回エコツアーリズム大賞の実施に当たって 1

■ 審査委員長講評

「第4回エコツアーリズム大賞」の選考を終えて 1

第4回エコツアーリズム大賞の概要 2

大賞受賞者の紹介 3

優秀賞受賞者の紹介 4

特別賞受賞者の紹介 6

応募団体一覧 8

## 第4回エコツーリズム大賞の実施に当たって

環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室長 岡本光之



第4回エコツーリズム大賞の実施に当たり、全国各地から数多くの応募をいただきました。改めまして選考委員をはじめとした、関係者各位の御理解、御協力に感謝申し上げます。

昨年6月に議員立法により成立した「エコツーリズム推進法」が、本年4月に施行されました。

本法律は、地域ぐるみの取組により、自然環境やそれに密接に関わる伝統的な生活文化などを保全しつつ活用するエコツーリズムの総合的な枠組みを定めたものであり、本年6月には、エコツーリズム推進法に基づく「エコツーリズム推進基本方針」が閣議決定されました。

また、昨年11月には第3次生物多様性国家戦略が策定され、エコツーリズムの推進が位置付けられるとともに、本年10月の観光庁の設置など、観光立国の推進も加速しています。

エコツーリズムの推進にとって大きな一歩を踏み出

した、この記念すべき年に募集いたしました第4回エコツーリズム大賞には、取組をなされている事業者や、自治体、NPO、地域団体等、さまざまな個人・団体から、その意欲的な活動について、多くの応募をいただきました。

今回、受賞された団体をはじめ、応募団体の取組内容を見ますと、地域の牽引者として「自然環境の保全」、「観光振興」、「地域振興」、「環境教育の場としての活用」というエコツーリズムの基本理念や、「エコツーリズム推進基本方針」で示された「大切にしながら」「楽しみながら」「地域が主体」の3つの視点を備えた立派な活動が多々あります。

今後、エコツーリズムを全国で推進していく上で、地域の状況に合わせた各地の創意工夫を発信していくことが重要であり、今回、応募いただいた関係者の皆様のみならずの取組、更なる磨き上げを期待しています。

## 「第4回エコツーリズム大賞」の選考を終えて

東京大学大学院農学生命科学研究科教授 下村彰男



今回、第4回エコツーリズム大賞には67件の応募があり、その中から「飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会」が大賞を受賞されました。自治体（公共団体）が中心となった組織が大賞を受賞したのは初めてのことです。各地域におけるエコツーリズムの展開には、こうした自治体を中心となって推進していくスタイルと、これまでの大賞受賞がそうであったように、民間組織が周辺の諸組織を巻き込みながら展開していくスタイルがあると考えています。

社会の要請や需要に対して「民」が応える形が先行していましたが、平成15年、環境省にエコツーリズム推進会議が設置され、その後のモデル事業をはじめとする事業の実施、そして平成20年4月のエコツーリズム推進法施行といった諸施策の展開が、ようやく公共団体の動きとしても実を結び始めたものと理解しています。実際、地域の協議会や諸協会からの応募も徐々に増えていますし、今回の優秀賞や特別賞にもそうした団体の受賞が例年より増えていることが見て取れます。もちろん、受賞のケースは平成15年以前からも独自の活動展

開をされていたわけですが、諸施策の推進とともに徐々にエコツーリズムに対する理解や共通認識が進み、各地でのエコツーリズム推進組織として大きな役割を果たすまでになってきたものと考えています。

今後は、こうした「公」と「民」とがより強く連携し、さらに総合的な展開をはかっていく必要があります。本賞募集要領の取組み分野に見られるとおり、エコツーリズムは観光、環境保全、地域活性化等を含む総合的な概念です。つまり最終的には、単なる観光ビジネスあるいは環境保全の行政や運動にとどまるのではなく、地域社会の活性化を通して人と（自然）環境とが持続的に共生するための仕組みとして機能していくことが重要です。そのためには、「公」の下支えする力と「民」の活力とが地域の状況に応じてユニークに協働していくことが必要です。各組織がそれぞれに得意分野での活動に磨きをかけるとともに、総合的な展開をも視野に入れ、さらに充実した取り組みとして応募していただくことを期待しています。

# 第4回エコツーリズム大賞 概要

## 大賞の趣旨

エコツーリズム大賞は、エコツーリズムに取り組む個人、事業者、団体、自治体などを対象に、優れた取組を表彰し、広く紹介するもので、全国のエコツーリズムに関連する活動の質的・量的向上並びに、エコツーリズム関連情報交換等による関係者の連帯感の醸成を図ることを目的とします。

## 第4回エコツーリズム大賞の経緯

募集期間：平成20年  
8月28日～10月10日  
応募総数：67件  
表彰式：平成20年11月28日

## 受賞者一覧

### 大賞

**飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会**  
里地里山の身近な自然と生活文化が「宝物」

### 優秀賞

#### 越後田舎体験推進協議会

田舎を伝え、心の交流を育む。越後田舎体験

#### 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ

2県10市町村に跨る環境の保全とトレイルの活用を推進

#### 財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター

阿蘇地域の自然・景観を守り、人と地域を元気にします

### 特別賞

#### 秋田白神ガイド協会

太古の昔から息づく白神の鼓動を後世に伝える森の伝道師たち

#### 稲取温泉観光同会社

達人や博士と一緒に、魅力たっぷりのツアーを満喫！

#### マキノ里湖体験ツアー協議会

ブナの森と琵琶湖をつなぐ里山まるごと自然体験

#### 大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会

広域エリアの協力と努力で創り上げるエコツーリズム

#### 秋吉台地域エコツーリズム協会

秋吉台の自然・歴史を体験し、カルスト文化、洞窟文化を考える

#### 特定非営利活動法人 おちかアイランドツーリズム協会

丸ごと活用、おちかッパワー！人間力で大いなる挑戦！



表彰式

## 審査委員

審査委員長

下村 彰男

東京大学大学院農学生命科学研究科教授

奥山 隆哉

社団法人 日本旅行業協会理事・事務局長

海津 ゆりえ

特定非営利活動法人 日本エコツーリズム協会理事

桜井 義維英

特定非営利活動法人 自然体験活動推進協議会理事

佐藤 博泰

松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科  
学科長・教授

# 飯能市・飯能市エコツーリズム推進協議会 里地里山の身近な自然と生活文化が 「宝物」

埼玉県飯能市

## 講評

エコツーリズム推進モデル地区として指定されて以来、市が中心となり地域住民と一体となってエコツーリズム推進に向けて精力的な活動を行っている。基本方針の一つとして「自然と文化の保全・再生」を掲げ人と自然とのふれあいを通して自然環境と地域文化の保全・再生に取り組むとともに、市内の住民団体やNPOが数多くのエコツアーを企画実施することを促し、住民が地域を再認識し誇りや愛着を育んで地域の活性化に結びつけることにも取り組んでいる。その他協議会でツアーの内容について予備審査を行い、エコツアーの質を確保するための仕組みを確立していること、ガイド養成講習会を行い、人材育成やガイドのスキルアップにも力を入れていることなど、地域ぐるみでエコツーリズムを総合的に推進し、全国の先導役となっていることが評価される。



## 応募の概要



ツアーの質を確保するための仕組みの確立、「すべての地域と人の参加」を掲げ、地域住民とともに宝物を掘り起こし、100を超えるエコツアーを企画、実施。

## 受賞の言葉

エコツーリズム大賞の受賞は、市と市民が一体となり数多くのエコツアーを企画・実施し、市民が自分のまちに改めて誇りと愛着を持つに至ったことなどが評価されたものと思います。今後も、自然環境や歴史文化を守りながら、そこに暮らす人が地域の魅力を再発見し、地域の活力につながる「エコツーリズムのまち飯能」をアピールしていきたいと考えています。(飯能市長 沢辺瀧彦)



エコツーリズム大賞の受賞は、地域住民、行政、エコツーリズム推進協議会、そしてエコツアーに参加してくださったお客様など、飯能市のエコツーリズムに係わるすべての人々への激励と考え、これを機会に、より一層の精進を重ねていきたいと思っております。(飯能市エコツーリズム推進協議会会長 犬井正)

## 活動内容

推進協議会および市が中心となり、基本方針や推進組織、ツアーの質を確保するための仕組みを構築するとともに、「すべての地域と人の参加」を掲げて、地域住民とともに、身近な自然資源や地域の人々の生活の知恵、衣食住の技術などの「宝物」を掘り起こし、市内の住民団体やNPOがエコツアーを企画・実施している。さらに、ガイド養成のための「オープンカレッジ」や情報交換の場としての「活動市民の会」を設置するなど活発な活動を展開し、知名度がアップするとともに、地域活性化に寄与している。



### 組織の沿革

代表者名：市長 沢辺瀧彦  
          会長 犬井正  
設立      ：飯能市エコツーリズム推進協議会  
          2005年5月12日  
所属人数：25名

### 連絡先

〒357-8501  
埼玉県飯能市大字双柳1-1  
Tel: 042-973-2123  
e-mail: eco2@city.hanno.saitama.jp  
Web: <http://hanno-eco.com/>

優秀賞

## 越後田舎体験推進協議会

# 田舎を伝え、心の交流を育む。 越後田舎体験

新潟県上越市

### 講評

田舎体験推進協議会が中心となり、行政、エージェント、地域の観光施設、地区コーディネーターなどの連携のもと、実施体制が充実していることが評価される。さらに、単なる農業や林業などの体験だけでなく、昔の暮らしを見直した生活の知恵や自然エネルギーの大切さを伝えたり、森林保全管理の現状について説明するなど、環境保全の取組も行っている点や、それが、地域の人の生きがいや自信になり、地域の原風景や文化の継承につながっている点が評価される。



### 応募の概要

新潟県上越市・十日町市において、地域の人がインストラクターとなり、自然と共存する日本の暮らしを伝え、田舎体験・交流を推進。

### 活動内容

新潟県上越市と十日町市を活動エリアとし、棚田などの日本の原風景が残るこの地域に、「田舎を持たない人々」を招き、自然と共に生きてきた日本の暮らしを伝えるため、自然体験、農林漁業体験、地元の料理、工芸、雪国体験など 100 以上のプログラムと資料を提供し、地域の人々がインストラクターとなって「体験・交流」を進めている。これらの体験の受け入れが地域の活力となり、自らの暮らしを伝えることが生きがいや自信となっている。



#### 組織の沿革

代表者名：村上雅巳  
設立：1999年9月  
所属人数：58団体

#### 連絡先

〒942-0411  
新潟県上越市安塚区安塚 722-3  
Tel: 025-592-3988  
e-mail: taiken@yukidaruma.or.jp  
Web: <http://www.yukidaruma.or.jp/taiken/>

優秀賞

## 特定非営利活動法人 信越トレイルクラブ

# 2県10市町村に跨る環境の保全と トレイルの活用を推進

長野県飯山市

### 講評

前々回の特別賞受賞後、平成20年9月に全長80kmに渡る信越トレイルを開通させるとともに、継続して自主ルールを作成やガイド等の全体的な管理に取り組み、さらにエコツアーにおけるガイドと参加者の比率についての配慮、猛禽類の調査等の生態系保全管理システムを充実させ、トレイルを舞台に地域資源の保全と利用について広域的かつ積極的に活動していることが評価される。また、関係行政機関やボランティア等との協力体制構築、学校との連携へと取組が発展している点にも期待される。



## 応募の概要

調査段階から8年目の平成20年9月、全長80kmの信越トレイル全線開通。延べ2000名のボランティアの手作業によって再整備し、長野・新潟両県の地域間交流が再開。

## 活動内容

長野・新潟県境にまたがる関田山脈の旧道・古道を、延べ2000名ものボランティアの手作業によって再整備し、新たにトレッキングコースとして活用している。このことが、地域間交流や住民による地域資源・自然資源の認識・



発掘・保全を促し、さらに地域経済への効果という広域活性化への動きと繋がっている。また、「信越トレイルの利用と保全に関する検討委員会」を設置し、トレイル全線での環境調査や猛禽類の調査とともに、ガイドライントレッキングルールの策定を行っている。



### 組織の沿革

代表者名：小山 邦武  
設立：2003年9月  
所属人数：22名  
(常勤事務局員4名含む)、会員350名

### 連絡先

〒389-2601  
長野県飯山市照岡1571-15  
なべくら高原・森の家内  
Tel: 0269-69-2888  
e-mail: office@s-trail.net  
Web: <http://www.s-trail.net/>

## 優秀賞

## 阿蘇地域振興デザインセンター

熊本県阿蘇市

阿蘇地域の自然・景観を守り、人と地域を元気にします

### 講評

「阿蘇自然案内人」による地域の自然・歴史・文化の紹介を充実させているだけでなく、農家民泊や農家レストラン、農業体験などを通して、地元住民と交流したり、商店街や温泉街などで食べ歩きや散策を楽しんだりするなど、地域の生業や日常的な生活と結びつけた事業を活発に展開していることが評価できる。また、関係省庁が連携して実施する「子ども農山漁村交流プロジェクト」の実施においてエコツーリズムも連携させ、子どもに対する教育にエコツーリズムを取り入れているなど、新たな展開にも期待される。



## 応募の概要

阿蘇の大自然や農村、商店街などでお客様にゆっくりのんびり時間を過ごしてもらい地域づくりを推進。

## 活動内容

阿蘇の大自然や農村、商店街などでのんびり時間を過ごしてもらい地域づくり「スローな阿蘇づくり・阿蘇カルデラツーリズム」を推進し、従来の日帰り型観光地から滞在型交流観光地への転換に取り組んでいる。景観・環境保全などを通じ、県境を越えた広域連携事業等を推進している。また、関係省庁が連携して実施する「子ども農山漁村交流プロジェクト」に取り組み、阿蘇の大自然のすばらしさと農業との密接な関係について、子どもたちに学んでもらえるようなメニューの開発等を実施している。



### 組織の沿革

代表者名：今村 輝昭  
設立：1990年5月  
所属人数：6名(専従職員2名、市町村からの派遣職員4名)

### 連絡先

〒869-2612  
熊本県阿蘇市一の宮町宮地2402 阿蘇総合庁舎内  
Tel: 0967-22-4801  
e-mail: info@asodc.or.jp  
web: <http://www.asodc.or.jp>

## 特別賞

秋田県藤里町

### 秋田白神ガイド協会

## 太古の昔から息づく白神の鼓動を後世に伝える森の伝道師たち

#### 講評

ガイド組織が中心となって、地元・藤里町および商工会と連携し、精力的に活動している点や、自然環境保全の一環としてガイド料の5%を積み立て、木道の整備などを実施していることが評価される。白神山地におけるエコツーリズムの先進的役割が期待される。

#### 活動内容

白神山地やその周辺にある観光資源を護りながら活用する「エコツーリズム」を平成16年から推進している。以前から地元ガイドの活動はあったものの協会は存在しなかったため、「秋田白神ガイド協会」を設立し、エコツーリズム推進が加速している。



#### 組織の沿革

代表者名：鎌田 孝一  
設立：2007年1月13日  
所属人数：18名

#### 連絡先

〒018-3201  
秋田県山本郡藤里町藤琴字藤琴8番地  
Tel: 0185-79-2111 e-mail: kankou@town.fujisato.akita.jp  
Web: <http://business4.plala.or.jp/sirakami/>



## 特別賞

静岡県東伊豆町

### 稲取温泉観光合同会社

## 達人や博士と一緒に、魅力たっぷりのツアーを満喫！

#### 講評

観光協会が中心となって興した合同会社であり、平成19年には第3種旅行業を取得、さらには第2種旅行業を取得し、地元からの発信を強化するとともに、漁協や地権者を巻き込みながらエコツーリズムの推進を行っているなど、従来の温泉観光地にエコツーリズムの手法を組み入れて観光を推進している点が評価される。

#### 活動内容

伊豆の稲取温泉は、旅館主導型の温泉観光地だが、自然や地域の独特な文化、伝統にも着目し、住民自らが魅力的な資源を活用したエコツアーの実施など、住民自らが継続的に事業化を図っている。来訪者が地元の人とともに魅力を味わうことができる仕組みづくりに取り組んでいる。



#### 組織の沿革

代表者名：加藤 昌利  
設立：2007年9月27日  
所属人数：社員60名  
従業員3名

#### 連絡先

〒413-0041  
静岡県賀茂郡東伊豆町稲取2829  
Tel: 0557-95-1157 e-mail: n-watanabe@inatorionsen.or.jp  
Web: <http://www.inatorionsen.or.jp>



## 特別賞

滋賀県高島市

### マキノ里湖体験ツアー協議会

## ブナの森と琵琶湖をつなぐ里山まるごと自然体験

#### 講評

琵琶湖畔で活発になっているエコツーリズム推進の動きの中でも早くから取り組んでいた団体である。伝統食の提供・解説など生活文化との関わりを重視し、長く活動を行っている点や地域ぐるみで活動をしている点などが評価される。

#### 活動内容

琵琶湖畔のマキノでは、豊かな地域社会を築くことを目的とし、地域の人々自らが歴史や生活文化等の地域資源に気付き、活かすとともに、活動を継続的に実施して行くことが重要であるとの考えから協議会を設立し、マキノでしか体験できない本物の体験ツアーを実施している。



#### 組織の沿革

代表者名：谷口 良一  
設立：2006年4月1日  
所属人数：20人(団体10団体  
個人10人)

#### 連絡先

〒520-1813  
滋賀県高島市マキノ町高木浜1-14-2  
Tel: 0740-28-8002 e-mail: machinet@ex.biwa.ne.jp  
Web: <http://nature-makino.sakura.ne.jp/>



## 特別賞

# 大山・中海・隠岐エコツーリズム協議会 広域エリアの協力と努力で創り上げるエコツーリズム

鳥取県米子市

### 講評

県・地域ぐるみで活動を行っている。行政と事業者が協働し、エコツアープロデューサー養成講習会等を行い人材育成にも力を入れている。山から海までの自然資源や温泉を活用しての地域おこしの意味も含め、広域な範囲で活動を行っている点が評価される。

### 活動内容

大山とその山麓、海をエリアとして、豊富な自然や水、歴史資源を活用したエコツーリズムの推進を地域ぐるみで行っている。鳥取県、8市町村に加え、皆生温泉の旅館組合や観光協議会などが連携し、地域全体でエコツーリズムに対する共通意識を持ち、事業を展開している。



#### 組織の沿革

代表者名：柴野 憲史  
設立：2007年4月  
所属人数：5団体、2企業、  
2NPO法人、  
5個人

#### 連絡先

〒683-0001  
鳥取県米子市皆生温泉 3-1-1  
Tel: 0859-35-6785 e-mail: kaike-nature@shore.ocn.ne.jp  
Web: <http://eco.daisenking.net>

## 特別賞

# 秋吉台地域エコツーリズム協会 秋吉台の自然・歴史を体験し、カルスト文化、洞窟文化を考える

山口県美祢市

### 講評

地域資源を活用し、自然科学や文化などについて深い知識を持った人々が集まり活動しているとともに、ツアー収益金の一部を自然修復事業に使用するなど地元資源の活用と保全を行いつつエコツアーを精力的に実施していることが評価される。

### 活動内容

日本最大のカルスト台地を誇る秋吉台地域をフィールドとして、地域の自然歴史・文化をテーマに、多様な主体の参画と連携によりエコツアーを実施している。地域の特性を生かしたエコツアーを確立し、地域振興の原動力となることを目指している。



#### 組織の沿革

代表者名：庫本 正  
設立：2007年6月7日  
所属人数：38名と8団体

#### 連絡先

〒754-0511  
山口県美祢市秋吉町秋吉 3506-2  
美祢市総合観光部観光振興課内  
Tel: 0837-62-0304 e-mail: karusuto@karusuto.com  
Web: <http://www.karusuto.com>

## 特別賞

# 特定非営利活動法人 おちかアイランドツーリズム協会 丸ごと活用、おちかッパワー！人間力で大いなる挑戦！

長崎県小値賀町

### 講評

農業、漁業の体験や、シーカヤック、トレッキングなど地元住民をはじめとする関係者の協力のもと、多岐にわたるプログラムを実施するとともに、海外からの参加者も精力的に受け入れ、国際交流プログラムも充実しているなど、活動が活発であることが評価できる。

### 活動内容

半農半漁の暮らしを営んできた「島の地域資源をそのまま丸ごと」生かした民泊、エコツアー、自然・文化体験を展開している。「観光を島の産業に」をモットーに、「自立経営・通年営業」ができることを目指している。



#### 組織の沿革

代表者名：小辻 隆治郎  
設立：2007年2月  
所属人数：理事・役員8名、  
職員9名、正会員100名、  
賛助会員50名

#### 連絡先

〒857-4701  
長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷 2791-13  
Tel: 0959-56-2646 e-mail: info@nozakijima.jp  
Web: <http://www.nozakijima.jp>

# 応募団体一覧

取組分野：

A. ガイドンスの手法 B. 環境保全の取組 C. 地域活性化の取組 D. その他の取組

都道府県	名称	取組分野	取組の概要	実施地域
北海道	北海道網走支庁	A.B.D	地球温暖化防止や環境保護の大切さを理解することを目的とした、小学生対象の流氷、知床の自然に触れるツアーを実施。	知床、網走市
	山崎山林森林セラピー推進会	A.B.C.D	全国民間初の森林セラピー基地として認定された、釧路湿原国立公園内の「山崎山林」を運営管理。森林セラピーガイドの養成、ボランティアによる森林づくり、地元事業者等との連携等。	知床、網走市
	株式会社 湧駒荘	A.B.C	周辺散策マップの配布。景観に配慮し、省エネ・エコシステムを利用した、町民無料の日帰り浴場を運営。	上川郡
	ゆっくりずむ北海道	A.B.C	「おいしく・楽しく・学べるエコツアー」をスローガんに、食農教育型エコツアーを実施。地元ガイドによるインタープリター制度を導入。	北海道全域
	特定非営利活動法人 クッチャロ湖 エコワーカーズ	A.B.C.D	クッチャロ湖周辺フィールドにて様々なエコツアーを実施し、企業価値向上活動や学生研修とのタイアップツアーも実現。	クッチャロ湖畔 及びその周辺地域
青森県	白神ブナ植樹フェスタ in 赤石川実行委員会	A.B.C.D	白神山地でブナの種を拾い、苗に育て、植樹祭を実施。みちのく銀行と提携した「エコ定期預金」を実施。	白神山地
岩手県	二戸市 楽しく美しいまちづくり 推進委員会	A.B.C.D	「宝さがし」を基礎に、雑穀や漆、町並み、歴史などを活用した地域づくりに取り組み、宝めぐりツアー等を実施。	旧二戸市
	特定非営利活動法人 体験村・たのはたネットワーク	A.B.C.D	子供向けイベントや新プログラムの質的向上を図り、地域住民と協力した環境保全と郷土理解を深め、全村的な住民参加活動へ場を広げている。	田野畑村村内
秋田県	秋田白神ガイド協会	B.C.D	ガイド養成とともに、自然環境保全活動の一環としてガイド料の5%を積み立て、木道の整備等を実施。	白神山地 (秋田県側)
埼玉県	飯能市・飯能市 エコツーリズム推進協議会	A.B.C.D	ツアーの質を確保するためのエコツアー事前協議制度の導入、「すべての地域と人の参加」を掲げ、地域住民とともに宝物を掘り起こし、100を超えるエコツアーを企画、実施。	飯能市
	株式会社 JTB 関東	A.B.C.D	「地球に優しい靴で行きたい」をコンセプトに、旅をしながらエコロジーを考える機会を提供するツアー・プログラムを実施。	国内外
千葉県	鈴木 英雄	A.B.C.D	「サハリン自転車ツアー」、将棋をアレンジしたゲームの開発・体験イベント、「地球・環境・温暖化・ゲーム」体験イベント等を実施。	国内外
	特定非営利活動法人 ワイルドアースプロジェクト	A.B.C.D	日本子どもたちを対象とした、異文化交流と地球環境保護教育のためのサマーキャンプを実施。	アメリカ合衆国 ワシントン州 オカノゼン郡
東京都	日本生活協同組合連合会	A.B.C.D	生協版グリーンツーリズム「グリーンライフ」を展開し、親子を中心に、体験を楽しみながら、食と環境の大切さを伝えている。	長野県、岐阜県
	フットツーリングクラブ	B.C.D	外国からの視点で掘り起こした、外国人に日本をじっくり歩いて旅をしてもらうためのコースを設定。	新潟 長野 山梨 神奈川 静岡
	株式会社 日本エコツーリズム プランニングサービス	B.C.D	国内事業者、団体等との共同による中国内モンゴル、ボルネオ等における砂漠緑化と熱帯雨林保護の支援ツアーを実施。	国内外
新潟県	越後田舎体験推進協議会	A.B.C	地域の人をインストラクターとなり、自然体験、農林漁業体験、地元の料理、雪国体験など100以上のプログラムと資料の提供。	上越市、十日町市
福井県	小原 ECO プロジェクト	B.C.D	地域住民の同意を得て、年間6000人の登山者から地域環境保全協力金を求め、その収益を登山道整備や外来種対策等に活用。	勝山市北谷町小原 地域
山梨県	富士山登山学校ごうりき	A.B.C.D	英語対応スタッフの採用、少人数制のツアーの実施のほか、紙芝居や実験を用いたインタープリテーションやモニタリング評価を導入。	富士山全域
	特定非営利活動法人 富士山自然学校	A.B.C.D	山中湖村へのボランティアインストラクター養成講座開催の提言、同インストラクター認定制度を設けた。山中湖村エコツーリズム推進協議会を設置。	山中湖村周辺地域
	やまねミュージアム	A.B	36年の研究成果をもとに、やまねプログラムを実践し、アニマルパスウェイの提案・推進、世界各地での応用化を果たしている。	北杜市
長野県	Eco-Stay TOSS	A.B.C	エコ箸、栽培方法や地産地消にこだわった食材を提供。毎朝開催する自然観察散歩、環境、身体、食をテーマとしたセルフエコツアーなどを実施。	霧ヶ峰 車山
	おんたけアドベンチャー	A.B.C	長野県西部地震による災害で形成されたせき止め湖でのツアーを実施。災害の脅威と自然環境の回復を見て、自然との関わりを伝えている。	王滝村自然湖
	松本市健光(健康+観光) ツーリズム事業	A	中高齢者向けのウォーキングや健康食の提案などを地元信州大学や松本大学と連携して実施。	松本市奈川地区

# 応募団体一覧

取組分野：

A. ガイダンスの手法 B. 環境保全の取組 C. 地域活性化の取組 D. その他の取組

都道府県	名称	取組分野	取組の概要	実施地域
長野県	特定非営利活動法人霧ヶ峰基金	A.B.C.D	霧が峰を巡るエコツアーの実施、快適な登山道保持の提案、水質・植物相の調査、協働ごみ拾いウォークや子供向けプログラムなどを企画・実施。	霧ヶ峰高原
	茅野エコツーリズム協議会	D	平成 20 年 6 月に「茅野エコツーリズム協議会」を発足。初年度事業として「エコツーリズムチャレンジ 2008IN ふるさと」の事業活動に取り組んでいる。	茅野市
	特定非営利活動法人信越トレイルクラブ	A.B.C.D	全長 80km の信越トレイル全線が開通。信越トレイルクラブ登録ガイドの養成、派遣している。ガイドレシオは安全や環境配慮からガイド 1 人に対して利用者 10 人。	関田山脈全域
	愉快的仲間たち	C	各地域づくり団体が連携した組織。地域資源の情報収集とプログラム作り、語り部の活躍の場作りと育成等を実施。	飯田市
岐阜県	特定非営利活動法人ひだ位山ふるさと学校	A.C	体験ツアー「源流・田舎暮らし入門」を実施し、源流の自然と里の暮らしの一端に触れる機会を都市住民の提供。	飛騨一之宮
静岡県	株式会社ミダック	B.D	富士山の清掃活動、産業廃棄物処理施設見学を行い、さらにカーボンオフセットの考えを付加した、小中学生対象の「富士山エコツアー」を実施。	富士宮市
	稲取温泉観光合同会社	A.B.C.D	地元の達人等によるガイド、伝統的なカニ漁体験など住民自らが魅力的な資源を活用、事業化を実施。	東伊豆町稲取地域
三重県	三重県観光開発株式会社	A.C	通年気軽に楽しめるエコウォーキングコースの設定、40 年にわたる「自然教室」を実施。自然観察指導員の資格取得を奨励。	伊勢市
	海島遊民くらぶ (有限会社 オズ)	A.B.C.D	島民に対するマナーなどのルールを、海中で出会う海女にも適用し、海女作業の見学という鳥羽ならではのシュノーケルツアーを実施。	鳥羽市、伊勢志摩国立公園内
滋賀県	早崎ピオトープネットワーク	A.B.C.D	日本最大のピオトープ実験地を活用した水棲生物、コハクチョウの観察会などを開催。グリーンツーリズムの提案・実施にも取り組んでいる。	早崎ピオトープ実験地
	有限会社 地域観光プロデュースセンター	C.D	滋賀ならではの地域資源を活かしたエコツアー企画、地域住民の受入参画による体験・交流型エコツアーを企画・実施。	滋賀県全域
	針江生水の郷委員会	A.B.C.D	「かばた」の暮らしや環境保全の大切さを地域内外に発信するためエコツアーを実施。地域通貨の活用や、地元産品を使った特産品開発を行っている。	高島市
	マキノ里湖体験ツアー協議会	A.B.C.D	伝統食の提供・解説など、マキノ地域での生活文化との関わりを重視している。活動を継続的に実施していくため協議会を設立し、地域ぐるみで活動している。	高島市マキノ町内
京都府	柿の木山	B.C	「自然・エコ・田舎」をキーワードに遊び心を加えた田舎体験を企画。首都圏の学校の環境学習として利用されている。	南丹市美山町
	大原野のフジバカマを守る会	A.B.C	大原のフジバカマを復活させるため、保全、保護活動に取り組んでいる。地元企業、教育機関と協力したイベントも展開。	京都西山地域
	スイス村体験交流宿泊施設 風のがっこう京都	A.B.C.D	再生可能エネルギー施設を活用した、体験型環境学習と自然体験とをプログラム化したエコツアーを実施。	丹後半島 および 太鼓山周辺
	北桑の森 / ガイドウォーク	C.D	天然杉と落葉広葉樹の混成林を中心にガイドウォークを実施。地元食材を使った昼食弁当をガイドウォークに取り入れ、地域の食文化等を紹介。	京北片波川源流域
大阪府	株式会社農協観光 西日本グリーンツーリズム支店	A.B.C.D	田舎での農業体験ツアーを実施。地域特有の旬を感じ、五感を使った体験を取り入れた企画を提供。クイズなどを取り入れ食と農について楽しく知る工夫を実施。	近畿・中国・四国
	アロマテラピー & ハーブ MaNa	A.C.D	アロマテラピーの精油を使った環境にも健康にもやさしいモノづくりを実施。地域や生活に密着した具体的なプログラムを提案。	大阪市立環境学習センター
兵庫県	特定非営利活動法人 上山高原エコミュージアム	A.B.C.D	特定非営利活動法人、町、県が協働し、上山高原や麓の集落を博物館ととらえ、資源の活用・保全等に取り組んでいる。自然観察会でインタープリターによる解説を実施。	上山高原エコミュージアム
奈良県	料理旅館 朝日館	A	行者宿の存在意義等を語り部から伝える宿泊プログラムを提供。講に代わる新たな利用につなげ、地区の活性化を目指している。	吉野郡

都道府県	名称	取組分野	取組の概要	実施地域
和歌山県	財団法人和歌山健康センター 熊野で健康ラボ	A.B.C.D	熊野古道の地域資源を活用した健康・保養プログラムを推進している。地域文化業との連携等を行っている。	田辺市
	特定非営利活動法人 自然回復を試みる会 ビオトープ孟子	A.B.C	放棄田の新たな活用（田植体験、そば刈り体験）と自然保護と地域の歴史文化解説が融合したエコツアー（古道タイムスリップツアー）を実施。	海南市
	株式会社 串本海中公園センター	A.B.C	スノーケリングでの自然観察体験ダイビング、磯観察などのほか、小さな子どもたちやハンディのある方も楽しめるよう水族館を利用した水族館飼育体験、海藻おしぼ教室などを併用。	串本町
鳥取県	特定非営利活動法人 大山・南部・奥日野観光事業 推進機構	A.B.C.D	大山隠岐国立公園地域内において、トレッキングコース開発、ガイド養成、観光メニュー開発を実施。ブログを活用した情報提供等。	伯耆町・南部町他
	大山・中海・隠岐 エコツーリズム協議会	A.B.C.D	県・地域ぐるみで活動を行っている。行政と皆生温泉の旅館組合・観光協議会等と連携し、豊富な自然や水、歴史資源を活用した事業展開を実施。	鳥取県西部地域
広島県	たび〜と (ホープバス共同組合)	A.B.C	地域の自然環境、生活文化や郷土芸能を生かしたツアーの開発、提供。地元住民ガイドが活躍。	北広島町
山口県	秋吉台地域エコツーリズム協会	A.B.C.D	テーマ別に、専門家による学術的な解説や地元住民による民俗学、文化などをガイダンスなど、多様な主体の参画と連携によりエコツアーを実施。	秋吉台地域
徳島県	株式会社 四季美谷温泉	A.B.C.D	希少種などが観察できるポイントをコースに導入。自然保護の啓発と実践、豪雨で被災した自然の再生の観察等を行うエコツアーを実施。	那賀町
	クーランマラン人力旅行社	B.C	アドベンチャー系エコツアーを提供。独自の環境方針で、自然の利用、人数制限、自然保護、環境に配慮した用品や施設の利用などを規定。	全国各地
	AMEMBO	A.B.C.D	川ではカヤック・カヌー体験、山間部では間伐・枝打ち・下草刈にツリーハウス造りを導入。カヤックの専門インストラクター配置や小学校での出前カヌー教室を実施。	美馬市
愛媛県	都市と田舎を結ぶ食育ネット	B.C.D	川遊び体験での環境調査や、田んぼでの除草作業での生き物観察などを実施。農業体験・林業体験や遊びを通じた都市農村・異年齢交流を推進。	喜多郡内子町内
	まゆ	C	地域の山に放置されている桧の枝を材料にした手づくりの積み木を創作。親子で楽しめる「積み木づくり体験」を提供。	新居浜市、西条市、高知県吾川郡いの町
高知県	社団法人 西土佐環境・ 文化センター 四万十楽舎	A.B.C.D	四万十川に近い廃校舎を利用した森川農林漁業体験ができる宿泊施設を運営。教育機関とも連携した自然文化体験活動を推進。	四万十川流域
佐賀県	特定非営利活動法人 伊万里はちがめプラン	A.B.C.D	全国からの見学者等（年間 1300 人）に、生ごみの堆肥化、菜の花プロジェクト活動などを実践的体験を通じて紹介。	全国各地
長崎県	特定非営利活動法人 おぢかアイランドツーリズム協会	A.B.C.D	「島の地域資源をそのまま丸ごと」を生かした民泊・エコツアー・自然文化体験を展開。「子ども農山漁村交流プロジェクト」など幅広い集客を実現。	小値賀町
	させぼパール・シー株式会社	A.B.C.D	豊富な地域資源を活かしたイベントやエコツアーのほか、ボランティアガイドをはじめとする人材育成、出前講座等を実施。	佐世保市
熊本県	財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター	A.B.C.D	平成 15 年度に「阿蘇自然案内人協会」を設立。参加者及びガイドと入念な打合せを行い、参加者の能力にあったツアー催行を実施。	阿蘇全域
大分県	レゾネイトクラブくじゅう	A.B	「自然と人間の共生」がコンセプトのホテル。野生生物の生活を壊さないため、施設を高床式、館内の照明は白熱灯にしている。宿泊客を対象に「朝の自然散策」を実施。	久住高原
宮崎県	宮崎県宮崎市 木花地域婦人会	B.C	河川パトロールへの参加やマイバックの普及促進など、日常生活から地域の環境を守る取組を行っている。	宮崎市内木花地域
沖縄県	ピオスの丘・ 有限会社らんの里沖縄	A.B.C.D	亜熱帯の森の再生や人口湖の造成などにより、気楽に自然を楽しむことができる環境の整備、維持に取り組む。在来種を基本とした維持管理を実施。	うるま市石川嘉手苅
	エコガイドカフェ	A.B.C	マンツーマン方式によるホスピタリティガイダンスの採用、サンゴの白化及び観光被害の定点観測、エコツアーリーダー育成などを実践。	宮古島市
	石垣島沿岸レジャー 安全協議会	A.B.C.D	会員相互の協働・連携を図り「安全対策・環境保全・地域共生」を柱とする活動を実施。	宮良川 吹通川

# 「第5回エコツーリズム大賞」募集のご案内

「第5回エコツーリズム大賞」の募集を2009年夏頃に行います。

## 募集対象

### ●エコツーリズムへの優れた取組み事例募集します

取組の例

- ・ 地域におけるエコツーリズム推進団体の設立と運営
- ・ 保全利用協定やガイドラインなどのルールづくりやその継続
- ・ 農業体験や校外学習などと連携したエコツアーの実践
- ・ 環境への配慮や環境保全への貢献
- ・ エコツアー等の情報提供の仕組み
- ・ 環境保全や地域振興への観光収益の還元システムづくり
- ・ エコツアーにおけるゴミの削減や環境負荷の低減
- ・ エコツアーのマーケティングや斡旋などを含めたエコツアー事業の運営など

## 賞および表彰

### ●エコツーリズム大賞(1点)、エコツーリズム優秀賞と特別賞各数点を予定しています

\*受賞者には表彰状と副賞を授与します。

## 応募資格

1. エコツーリズムに取り組む各種団体(事業者、企業、地方自治体、地域のグループ等)
2. 経験年数、法人格の有無、種類を問いません。
3. 自薦・他薦の別を問いません。
4. 過去のエコツーリズム大賞受賞者も応募資格があります。

## 募集時期

2009年夏頃予定。詳細は環境省ホームページでご案内する予定です。  
(<http://www.env.go.jp/>)

## 審査

エコツーリズム大賞審査委員会において各賞を選定し、環境大臣が決定します。  
決定後受賞者に通知し、表彰式を行います。



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

発行日：2009年3月

発行：環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室  
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2  
TEL：03-3581-3351 FAX：03-3508-9278  
<http://www.env.go.jp/>

制作協力：NPO法人日本エコツーリズム協会 Japan Ecotourism Society (JES)

